

定例教育委員会会議録

平成28年1月27日

境港市教育委員会（平成28年1月27日委員会会議録）

招集年月日 平成28年1月27日 15時30分

招集場所 市役所第三会議室

開 会 15時30分 委員長宣言

出席委員 ① 佐々木 邦広 ② 谷田 真基
③ 酒井 伊津子 ⑤ 永井 美央
⑥ 赤石 有平

委員長から説明のため出席を求められた者

教育委員会事務局長 藤 川 順 一
学校教育課長 山 本 淳 一
学校教育課補佐 高 濱 禎 彦
学校教育課補佐 遠 藤 彰
生涯学習課長 黒 崎 享
教育総務課補佐 小 川 博 史
教育総務課係長 古 徳 健 雄

傍聴者数 なし

会議書記 教育総務課係長 古 徳 健 雄

提出議案 なし

協議事項 境港市校区審議会について
その他

報告事項 寒波に伴う教育委員会所管施設の被害状況について
1月の行事報告、2月の行事予定など

酒井委員長 定刻になりましたので、ただいまから1月の定例教育委員会を始めます。今日は始めに、寒波に伴う被害について報告をお願いします。

寒波に伴う教育委員会所管施設の被害状況について、教委事務局長及び生涯学習課長より報告

酒井委員長 思わぬ凍結で大変な被害が出ておりますが、何か質問等がありますでしょうか。

赤石委員 上道小学校の空調は、いつごろ復旧するのでしょうか。

教委事務局長 今現在、復旧の目処は立っておりません。配電盤が壊れていますので、一部修繕もしくは全面取替えになるのか調査中です。

谷田委員 給食センターは、給食の献立を変更し基本的には汁の提供がなくなるということですが、自分の子どもに聞いてみたところ量が少ないということをおっしゃいました。高学年や中学生になると足りるのか、緊急事態ですので一時的には仕方がないことだと思います。2月1日に復旧見込みということですので、予定どおりにいけば問題ないかと思いますが、復旧が長期化するというのであれば、汁に変わる代替食を検討していく必要があるのではないかと感じました。

教委事務局長 給食センターの心臓部である回転釜が使えない状態ですので、インスタントの汁を提供するなど、色々検討はしましたが、コンベクションオーブンをフル稼働して、変わりになるおかずを調理しているところです。

赤石委員 新しい設備にもかかわらずこのような寒波で壊れるようでは困るので、何らかの対策が必要だと思います。

教委事務局長 現状、蒸気発生装置は屋外にありますが、寒冷地仕様で

はないため、保温ヒーター等も付いていません。氷点下が長時間続くことがまたあるかもしれませんので、今回のことを踏まえて業者と対策を検討しております。

永井委員

食器等の洗浄は水圧の関係もだと思いますが、お湯は適温であり、食洗機の稼働に支障は出ていないのでしょうか。

教委事務局長

水の供給は足りており、お湯も蒸気発生装置ではなく、ガスのボイラーを通して供給されていますので、通常どおり稼働しております。

佐々木教育長

本来供給すべき給食が、十分に供給できないということで、子どもや保護者の皆さまには大変申し訳ないと思っておりますし、各学校から文書を配布していただいたところですので。あってはならないことですので原因をしっかりとつきとめまして、二度とないよう手立てを早急に打たなければと考えております。水圧が下がっておりますので、十分に洗浄ができるか心配しておりましたが、受水槽の水量を絶えずチェックしながら運営をしております。

酒井委員長

早めに細やかな対応をしていただいておりますが、さらに寒冷地対策等に努めていただければと思います。

本日は議案がございませんので、協議事項に入ります。境港市校区審議会について説明をお願いいたします。

※境港市校区審議会について学校教育課長より説明

永井委員

前回の校区審議会は平成11年度に行われ、現在の夕日ヶ丘の区割りが決まったということですね。

学校教育課長

同じ町名でも1丁目と2丁目で校区が線引きされていますが、これは中野町でも同様に、上道小と余子小に分かれて通っています。夕日ヶ丘自体が大変広く、分譲開始当時はなかった定期借地権制度により、人口が増えております。

赤石委員 今回、誠道小学校の問題等について校区審議会で協議した上で、教育委員会に返ってくると認識していますが、すでに校区審議会という組織があり、夕日ヶ丘の区割りを行った委員で誠道小学校の問題等についても協議していくということでしょうか。

学校教育課長 これまでの委員は解任されていますので、新たに委員を選任しなければなりません。特に誠道小学校の問題は、新しい委員で、子ども達の健全な成長にとっていい規模の学校なのかということについて検討し、そのまま存続するのか、他の学校と統合若しくは小中一貫校を造るといったき台を出していただき、教育委員の皆さんに決定いただいたものを、事務局が執行していくということになります。

赤石委員 これから校区審議会を作り、小中学校の適正規模といった問題について協議していただくということですか。

学校教育課長 新たな校区審議会の委員についても、教育委員の皆さんにご審議いただいて、3月の定例教育委員会では承認をお願いし、早速4月から召集できるよう進めてまいりたいと考えております。

赤石委員 校区審議会に諮問する内容を、この教育委員会で話しをしないとイケなかったのではないのでしょうか。

学校教育課長 目の前にある誠道小学校の問題をどうするのかということと、10年20年先の人口減に伴った校区再編をどう考えるかの2本柱になります。

赤石委員 それには小中一貫校である義務教育学校も含まれるということですね。

学校教育課長 将来、児童・生徒数が1,500人になろうかというときに、何校の学校を残していくのかという議論の中で、義務教育学校についても検討するよう指示をいただきました

たら、校区審議会で調査・審議をしてみたいです。

酒井委員長

校区審議会に諮問する議題については、また協議する時間を設けるといえることでしょうか。

佐々木教育長

誠道小学校やその他の小中学校について、20年後の境港市の学校ビジョンに基づいてどのような方向性があるのかということをお話し合っていていただくわけですが、教育委員の皆さんからいくつかの案を出していただくと、校区審議会には参考資料として提出することもできます。現時点で何か案がありましたら、この教育委員会で協議し、校区審議会に諮問できたらと考えております。

永井委員

2本柱でいくわけですね。今年度の流れの中で、誠道小学校を語る会を置いて、校区審議会という形を取ったほうがいいのかということもありましたが、この先10年20年の人口推移で誠道小学校だけの問題ではないことが明らかになっているので、校区審議会では誠道小学校をどうするのかという問題ではなく、市内全域の小中学校の再編という大きな問題を出すと思っていたので、もう一度明確にさせていただきますでしょうか。

学校教育課長

誠道小学校を語る会については、昨年4月にスタートし何回か開催しました。これは誠道小学校の児童数が54名になったことで、保護者の方から様々な意見をいただき、問題解決の糸口を探ろうというものでした。議会の中でも、複式学級が実際に起こるといえることが見えてくれば、校区審議会を立ち上げて検討をし、統合あるいは存続という論議を始めなければならないと答弁をさせていただきました。実際にこの4月より2・3年生で13名の複式学級が始まるということで、1名教員がいなくなります。これを単年の学級で残していくことができないか、県教委と協議をしているところですが、1名教員が欲しいければ500万円の協力金を支払う必要があります。市としてできることは、指導補助員を増やすことで子ども達の学びに対する不

安が少しでもなくなるよう事務局では検討しているところです。校区審議会では、誠道小学校を語る会の流れも外さずにやらなければいけません。永井委員さんがおっしゃられたように、今後のことを考えますと誠道小学校だけの問題ではありません。第一中学校への入学者は75名しかおりません。境小学校も33名しか入ってきませんので、3年生からは単独学級になります。余子小学校ではすでに2年、4年、6年が単独学級になっていますので、1つの学校の問題ではないということが数字上も明らかです。教育委員会には、きちんとした骨組みを作ってくださいをお願いしたいと思っています。

佐々木教育長

中学生の人数が減っていくということを考えると、中学校を1校にする、小学校7校を何校かに減らしていくという考え方が出てきます。今、新たに小中一貫校や義務教育学校というものが選択肢として入ってきましたので、資料だけではなく、実際の現場を見たり聞いたりといった工夫もしながら、審議していただきたいと思います。

谷田委員

今回の資料には、学校が持つ機能として、教育施設のほかに地域コミュニティの核としての役割もあるので、地域の意見もしっかり聞きながら進めていかなければならないということも書いてありました。そこは倉吉市の事例でもしっかり対応しておられました。前回は質問させていただきましたが、校区審議会の委員の要件が、PTAの役員、小中学校長と学識経験者ということで、なかなか地域の声が反映されないものになっていると思います。審議の過程の中で、地域の声を吸い上げるような形で審議をしていただくと、よりよいものができると思っています。

赤石委員

議会でも、誠道小学校が複式学級になった時点で、統廃合のことも校区審議会でも協議すると答弁しておられるので、小中一貫校とか議題を多く入れてしまうと結論が出ないような気がします。まず当面は誠道小学校の問題だけを審議しないといけないと思います。

佐々木教育長

確かに、まず動かなければならないのは誠道小学校の問題です。誠道小学校を語る会の中でも、「誠道小学校の校区をもっと広げて来させることはできないのか」とか様々な意見がございました。それに対する方向性は20年後を見据えたものでないといけません。

酒井委員長

校区審議会に諮問する議題については、2本柱ということでもよろしいでしょうか。

谷田委員

議題は2つだけれども、審議する内容としては実質1つのことかと思いますが、誠道小学校の問題でありながら、10年20年先を考えることだと認識しています。

永井委員

誠道小学校を残すか、残さないかという視点ではなく、残すにしても、例えば二中との小中一貫校ということになると、義務教育学校の存在も提示し、理解していただいたうえで話を進めていかないといけないので、やはり誠道小学校のあり方を話し合う上では、全体像を見ていかないと難しいのではないかと思います。

酒井委員長

児童・生徒数が減ることは避けることができないので、それを見越して、これから先のことを考えつつ誠道小学校を含めた小中学校のあり方を考えなければなりません。

赤石委員

議会でも答弁されているので、まずは誠道小学校の問題について結論出さないといけないと思います。

佐々木教育長

校区審議会に出していただくのは、諮問していただいたものの答申であって、答申の出し方は様々です。あとは教育委員会でしっかりと話し合い、首長部局とも話しをしながら一番境港市の子ども達のためになる方向性を示すことができたらと思っております。

校区審議会の委員への推薦等がありましたら、次回の定例教育委員会までにご連絡いただけたらと思います。

地域および様々な立場の方々の意見を聞きながら、広く話し合いができるような工夫をしていきたいと考えております。

赤石委員 校区審議会の委員の候補者を示していただければ、「こういった方も入れたほうがいいのでは」という推薦もできるかと思います。

佐々木教育長 小中学校長をすべての校区から選ぶのか、学識経験者としてどのような方々に委員になっていただくかということについてもご意見をいただきたいと思います。

酒井委員長 次回、校区審議会に諮問する議題と委員について、資料をいただきたいと思います。
その他に協議事項はありますでしょうか。

学校教育課長 県の総合教育会議が開かれたところですが、鳥取県の「教育に関する大綱」の改定案について、概ね了承されたということですが、それに先立ち市町村にも意見照会があったものです。

赤石委員 平成28年度重点取組施策が多すぎて、本当に全部しようと思ったら、現場は混乱しませんか。

佐々木教育長 鳥取県は、「教育に関する大綱」に基づいて県の施策が行われていくということです。本市では大きく3つの柱を立て、それぞれにいくつかの項目をあげた「境港市教育施策推進大綱」に基づいて教育行政を進めていきます。

赤石委員 成人式に来賓として出席しましたが、来賓者が多くその紹介も大変だったと思いますが、式典の内容には参加する成人側の意見も入っているのでしょうか。

永井委員 境港市の場合は市が主催して、20歳になった人達が集って、友達や恩師等に会える場所でもあると思います。そ

れと20歳になった節目に市長の話も伺って、自分たちが育った境港市のことを再認識する場でもあります。米子市は成人の代表者で組織した実行委員会が主催していますし、色々な運営パターンがあるかと思いますが、本市のように市が主催し、それに参加させていただけるのはありがたいことですし、貴重な場だと思っています。きっと新成人の方々も、本心はうれしいという気持ちの人が大多数ではないかと思っています。

生涯学習課長

小学校の入学式でも30数名の来賓紹介がありました。例年成人式でもお一人ずつ紹介させていただいていますが、他市の状況も勉強してみます。

赤石委員

成人側の意見も聞いてみるのもいいのではないかと思います。

酒井委員長

それでは、報告事項をお願いします。

学校教育課長、生涯学習課長 各報告

酒井委員長

以上で予定していた議題は終了しましたので、本日の定例委員会は閉会といたします。ごくろうさまでした。